

# 英国のECLOとROVIの 関係から考える持続可能な 視覚障害リハ・教育のあり方

中野 泰志 (慶應義塾大学)  
nakanoy@z7.keio.jp



1

## 1. はじめに

2

## (1) 自己紹介

3

## 略歴

- 国立特別支援教育研究所 (1988-1997)
  - 視覚障害教育研究部で9年間勤務
- 慶應義塾大学 (1997-2003)
  - 経済学部で総合教育科目の心理学を担当
  - 視覚障害学生の支援
- 東京大学先端科学技術研究センター (2003-2006)
  - 福島智先生とバリアフリーの拠点づくり
- 慶應義塾大学 (2006-現在)
  - 包括的な障害学生支援体制の樹立
  - バリアフリー・UDに関する研究拠点づくり

<https://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/profile.html>



4

1

## 主な学会・各種委員会等

- ・ 日本弱視教育研究会・会長
- ・ 日本ロービジョン学会・推薦評議員
- ・ 日本福祉心理学会・理事
- ・ 全国高等教育障害学生支援協議会・理事
- ・ 内閣府「障害者政策委員会」・専門委員
- ・ 文部科学省総合教育政策局「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る協議会」・座長
- ・ 中央教育審議会初等中等教育分科会「教科書・教材・ソフトウェアの在り方ワーキンググループ」・委員

専門：知覚心理学、障害心理学、福祉心理学、特別支援教育

[https://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/achievement\\_03.html](https://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/achievement_03.html)



5

## (2) ロービジョン関連領域での主な活動

6

## ロービジョン領域での最近の活動

7

## UDブラウザ

教科書・教材閲覧アプリ「UDブラウザ」のホームページ



中野 泰志

(慶應義塾大学経済学部)

<https://psylab.hc.keio.ac.jp/app/UDB/>



2

8

# PDF版拡大図書

教科書と全く同じ紙面のレイアウトの固定モードと  
フォントや配色等を自由に変更出来るリフローモードを  
自由に切り替えて使えるハイブリッド・デジタル教材

② 目次と政治情報  
ページジャンプ機能で指定されたページを開くことが簡単！

便利な付録機能もあるよ！

① 日本の政  
構の特色  
フォント、文字サイズ、文字間隔、行間隔等が自由に変更可能！

日本国憲法は、読み上げている場所がわかるようにハイライト表示してくれるよ！

日本国憲法は、  
が国民に存する  
る場所がわか  
るよ！(前文)し、  
日本国民は主権者  
を獲得した。そし  
て、

キーボードからの操作も可能！

ラインマークや書き込みもできるよ！

<固定モード>      <リフローモード>

<https://psylab.hc.keio.ac.jp/DLP/>

9

# UDフォント

ユニバーサルデザインと文字

ユニバーサルデザインとは、誰もが利用しやすいデザインのことです。視覚や聴覚などの障害がある人でも利用できるデザインのことを指します。ユニバーサルデザインは、誰もが利用しやすいデザインのことです。視覚や聴覚などの障害がある人でも利用できるデザインのことを指します。

<https://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/>

10

# Vision Simulator



本アプリは、ロービジョンの様々な見え方・見えにくさをシミュレート(擬似体験)したり、知覚心理学的テーマとして有名な建築物(上野公園)を視覚的にシミュレーションして体験できるアプリです。開発者アプリにも対応しています。インストールやアプリのダウンロードは無料です。また、体験中に感じたことを書き留め記録出来るのが特徴です。

<https://psylab.hc.keio.ac.jp/app/VSim/>

11

# 第64回弱視教育研究全国大会 (広島大会)

日本弱視教育研究会

弱視教育に関する科学的研究や  
実践的研究を志す者の連携協力により、  
視覚障害における弱視教育の進歩・発展を促す

お申し込み

2024年10月20日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月21日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月22日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月23日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月24日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月25日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定

全国大会


2024年10月26日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月27日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月28日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月29日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定  
2024年10月30日 広島県立広島盲学校(広島県広島市)にて開催予定

2024年1月18日(木)  
会場：広島県立広島中央特別支援学校  
2024年1月19日(金)  
会場：広島国際会議場

[https://www.jyakuishi-kyouiku.org/research/meeting/next/64th\\_taikai/](https://www.jyakuishi-kyouiku.org/research/meeting/next/64th_taikai/)


12

## 同行援護養成研修に関する研究

 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare	社会保障審議会障害者部会	
	第136回 (NS. 6. 23)	資料 4

同行援護従業者養成研修カリキュラムの  
改正について

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課



<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001110992.pdf>

13

## 日本版ECLC研究

### 失明の可能性の告知を受けた人の早期相談支援体制の構築に向けた調査研究 報告書

ホーム > お知らせ > 失明の可能性の告知を受けた人の早期相談支援体制の構築に向けた調査研究 報告書

2023年6月30日

失明の可能性の告知を受けた視覚障害者及びその家族に対する早期の相談支援体制の構築は、急務の課題です。眼科の医学的治療に限界があり、医療機関において失明の可能性の告知を受けた人々の多くは精神的に大きく落胆してしまい、引きこもりや精神疾患を発症するケースが少なくありません。

英国では、患者が現在の医療では視機能の回復が望めないと診断した医師が、患者に失明の可能性の告知をする時から、患者に寄り添いサポートする専門家がいます。その専門家はECLC(エククロ)と呼ばれており、本事業ではこの英国のECLC制度を参考に調査を行い、同様の制度が日本において構築可能かを探りました。

このほど、本事業の調査結果をとりまとめた報告書が完成しましたので、公開をいたします。ご活用の際、よろしく申し上げます。

なお、本事業は全国生活協同組合連合会、埼玉県民共済生活協同組合、大阪府民共済生活協同組合から助成をいただき実施いたしました。



<http://nichimou.org/notice/230630-jouhou-2/>

14

## 2. 視覚障害リハ・教育が存続の危機にある原因

15

医療の領域では  
ロービジョン・ケアが  
注目されているけれども、  
受け皿としての  
視覚障害リハ・教育は  
衰退しつつある！

16

視覚障害当事者のニーズが  
あるにもかかわらず、  
視覚リハ・教育が  
いずれも存続の危機に  
直面しているのはなぜ？

17

## 問題点1

医療から  
リハ・教育機関への  
橋渡しが出来ているか？

18

医療機関と  
リハ・教育機関との  
連携は古くから  
課題だった

19

肢体不自由や病弱等  
では、病院で  
医療から教育・リハ  
への橋渡しが行われている

20

しかし、  
視覚障害の場合、  
退院してから  
(入院せずに)  
教育・リハに繋がる  
ことが一般的で、繋  
がらない場合もある

21

医療従事者が  
視覚障害者のリハや  
教育のことを  
知らない場合も  
少なくない

22

日本視覚障害者団体連合が  
福祉制度を知らない  
視覚障害者が多いという  
調査結果を日本ロービジョン  
学会で報告したことで、  
医療機関が問題点を強く認識

23

## 福祉制度を知らない視覚障害者が多い

### 視覚障害者のための日常生活用具と補装具の給付 及び貸与の実態調査事業 報告書

ホーム > 政策情報 > 全国運動会 > 総務部団体関係  
視覚障害者のための日常生活用具と補装具の給付及び貸与の実態調査事業 報告書

2018年7月3日

本連合では、社会福祉法人中央共同募金会、全国労働者共済生活協同組合連合会の助成を受け、「視覚障害者のための日常生活用具と補装具の給付及び貸与の実態調査事業」を実施し、報告書を作りまとめました。報告書は全国の自治体、視覚障害者情報提供施設、視覚障害者福祉団体等へ配布をしました。

アンケート並びにヒアリング等にご協力いただきました皆様ありがとうございます。

#### 1. 調査報告書のデータ

報告書は下記よりダウンロードができます。

1. 墨字版 (PDF形式/5.35MB)
2. テキスト版 (テキスト形式/161KB)  
※写真やグラフ、アンケート調査票等は省略しています。
3. DAISY版 (DAISY形式/1.65MB)
4. 点字版 (BES形式/71.9KB)  
※1巻 (前編) と2巻 (後編) と分かれています。

「視覚障害者のための日常生活用具と補装具の給付及び貸与の実態調査事業 報告書」(日本視覚障害者団体連合,2017)より



<http://nichimou.org/all/news/secretariat-news/0702-jimu/>

24

## 制度を知るまでにかかった時間

	補装具		日常生活用具	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1ヶ月未満	170	27.6	136	23.0
1ヶ月～6ヶ月未満	75	12.2	69	11.7
6ヶ月～1年未満	57	9.3	57	9.6
1年以上～3年未満	75	12.2	61	10.3
3年以上～5年未満	43	7.0	55	9.3
5年以上	136	22.1	165	27.9
その他	28	4.5	27	4.6
無回答	32	5.2	21	3.6
合計	616	100.0	591	100.0

25

視覚障害を告知  
された時に  
必要な情報が  
伝わっていない  
可能性がある

26

## スマートサイト (SmartSight™)

- アメリカ眼科学会がインターネットからダウンロードして利用できるようにしている視覚障害リハビリテーションに関する情報のこと
- アメリカでは「患者向けプリント」と「眼科医向けプリント」の2種類の情報が用意されており、オーディオブック等の視覚障害のある人にとって有用な情報源がまとめられている
- 日本では、日本眼科医会等の働きかけで、すべての都道府県にスマートサイトが作成されている

27

## 日本眼科医会のスマートサイト関連情報

このパンフレット(SmartSight)はロービジョン患者が、それぞれの悩みに応じた適切な指導や訓練などが受けられるように、相談先を紹介するための「ひな形」です。

パンフレット内に、視覚障害に関して相談可能な施設(地域、近隣のロービジョンクリニック、視覚障害センター、視覚特別支援学校、盲学校、障害者自立支援センター)などについての情報を記載いただき、患者さんにお渡し下さい。

形式1  
各地域でロービジョンケア推進していく上での中心的組織(都道府県眼科医会など)が作成し、各眼科診療所などに配布後、そのままの内容で患者さんに渡す場合を想定したものです。

あらかじめ中心的組織が相談窓口リストなどを作成することを想定しております。

眼科診療所で、患者さんに配布時に点検を切り取り、大きい方を患者に、小さい方をカルテ保存用としてお使い下さい。

地域状況によりましては、下記の形式2の方が使いやすい場合もございますので、ご検討下さい。

形式2  
各眼科診療所で各々独自に作成し、患者さんに配布することを想定したものです。

各々の医師が各自ご自分の権限できる相談窓口リストを作成いただき、患者さんにお渡し下さい。

<https://www.gankaikai.or.jp/info/detail/SmartSight.html>

28

スマートサイトは  
視覚障害者や眼科医に  
情報を届けることが  
目的であり、  
直接、視覚障害者を  
支援するわけではない

29

日本版スマートサイトでは、  
構築の過程で、関係者間の  
連携体制が確立された  
地域もあり、  
早期介入に貢献している！

30

## 病院内での相談・支援の先進事例

### 1-1. 国立大学法人 広島大学病院（広島県広島市）

【カテゴリー】 特定機能病院/政令指定都市  
【実施日】 2022年8月10日  
【出席者】

- 広島大学病院  
眼科医 3名、診療講師 1名、研究員 1名
- 広島市視覚障害者情報センター  
視覚障害当事者 1名、歩行訓練士 1名



「失明の可能性の告知を受けた人の早期相談支援体制の構築に向けた調査研究報告書」（日本視覚障害者団体連合, 2023）より

【病院内相談室の設置】 2021年7月

【相談形態】

開設日：毎月第2・4水曜日 13:30~15:30（予約優先）

場所：広島大学病院外来棟2階 健康情報プラザ

費用：無料

担当：広島市視覚障害者情報センター 職員 2名

【相談実績】

全体相談件数：42件

相談室を経由しての身体障害者手帳取得<sup>1)</sup>：7件（2022年3月末時点であり4月以降は含まない）

【註】1）県全体の身体障害者手帳の発行数は、年間で280件程度であり、そのうちの3分の1は広島大学病院で行われている



<http://nichimou.org/notice/230630-jouhou-2/>

31

視覚障害者や家族にとって  
視覚障害を告知された時から  
様々なケアが必要不可欠！

32



特に、視覚障害を告知される  
際には、不安なので、  
日常生活ですぐに  
利用できる工夫や  
精神的なケアが重要！

33

子供に視覚障害があることが  
わかった場合、  
どこに相談に行けば良いか  
戸惑ってしまう！

34

視覚支援学校には  
早期教育相談と  
幼稚部があり、  
保護者の支援も  
行っている

35

早期教育相談や  
幼稚部がない学校  
もあるが、  
センター的機能  
として対応可能！

36

乳児の段階から  
視覚支援学校に  
繋いで欲しいが、  
繋ぐための  
仕組みがない！

37

日本には、他の国と同様、  
視覚障害当事者団体、  
視覚障害リハ施設、  
視覚障害情報提供施設、  
視覚支援学校等があるのに、  
繋がっていない！

38

## 問題点2

リハ・教育機関は  
当事者のニーズに  
対応できているか？

39

治療を諦め、  
障害を受容した後に  
リハ・教育に出会わせて  
いないか？

40

最も支援が  
必要なのは、  
障害を告知された  
直後ではないか？

41

今、何をすれば  
良いか、  
明日から、どう  
生きれば良いか  
という混乱や不安  
がある

42

混乱や不安に  
一人で  
向き合わせて  
いないか？

43

当事者だけでなく、  
家族への支援も  
同様に  
必要なのでは  
ないか？

44

訪問・コミュニティ型への  
サービス移行は  
十分に出来ているか？

45

訪問指導以外に  
サテライトを  
活用した指導等も  
重要かも？

46

訓練・教育は  
個別・最適化されて  
いるか？

47

個人の特別な  
ニーズに基づいた  
訓練・教育の  
PDCAサイクルが  
実現できて  
いるか？

48

2001年にWHOが  
障害の概念を変更し、  
2006年には国連が  
障害者権利条約を  
採択したが、  
日本の視覚障害リハ・教育は  
変わったか？

49

## 障害者の権利に関する条約



[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index\\_shogaisha.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html)

50

## 障害者差別解消法

障害者差別解消法が変わります！  
令和6年4月1日から  
**合理的配慮の提供が義務化**  
されます！

本日より新しい障害者差別解消法が改正され、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されました。障害のある人もない人も、思いやりを持って合理的配慮を共に生かす社会の実現に向け、事業者の皆さまもどのような配慮ができるか、このリーフレットをぜひご覧ください！

改正箇所	改正内容	施行期
1	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
2	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
3	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
4	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
5	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
6	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
7	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
8	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
9	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
10	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
11	合理的配慮の提供	令和6年4月1日
12	合理的配慮の提供	令和6年4月1日

民間事業者にも合理的  
配慮が義務化！



<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>

51

## 教育制度の大きな変革も起こった

- 特殊教育から特別支援教育へと変わり、学びの場を選択できるようになった
- 教科書バリアフリー法により、視覚障害のある子供達のための点字教科書は拡大教科書、そして、アクセシブルなデジタル教科書・教材が利用できるようになった
- GIGAスクール構想により、一人一台端末が用意され、高速ネットワークにもつなげられるようになった

52

制度等の改革の根底にある  
障害の社会モデルに基づいて、  
視覚障害者のリハや教育を  
変革させることが  
出来ているか？

53

## 障害の社会モデルとは？

- 障害を個人の属性ではなく、社会的障壁として捉える考え方
- 障害は、自分の身体にあるのではなく、障害者を排除する社会の構築のされ方やあり方にあると捉える
- 個人モデルでは、障害者の心身の機能や構造を補ったり、補強するための教育・訓練・エイドの活用が重視されてきたが、
- 社会モデルでは、社会の責任で、社会（環境）を変えることが重視される

54

## 個人モデルと社会モデルの対比

個人モデル	社会モデル	
個人的悲観理論	社会的抑圧の理論	←
個人的問題	社会的問題	
個人的治療	社会的行動	
医療化	自助	←
専門家の支配	個人的・集団的責任	←
専門性	経験	←
適応	肯定	
個人的アイデンティティ	集団的アイデンティティ	
偏見	差別	
態度	行動	
ケア	権利	←
コントロール	選択	←
政策	政治	
個人的適応	社会的変化	←

(Oliver, 1996)

55

## 医学モデルから見た視覚障害（1）

- 医学モデルの観点から視覚障害を理解すると、「社会を構成している人の多くは、視覚が正常な晴眼者であるが、病気や事故等によって、治療することが出来ない視力や視野等の視機能低下が起こってしまった視覚障害者という人達が少数存在する」という捉え方になる。
- この考え方に基づくと、「見えない・見えにくい」身体そのものが障害ということになる。
- また、視覚障害者が困難に遭遇する原因は、病気や事故等に遭遇したという個人的な問題と見做され、視覚障害者は、なぜ自分だけがこんな病気や事故等に遭遇したのかを嘆くことになり、専門家に援助を求めざるを得なくなる。
- 援助を求められた専門家は、視覚障害者に対して、障害を受容して、教育やリハビリテーション等の専門的な指導を受けるように誘うことになる。

56

## 医学モデルから見た視覚障害（2）

- そして、専門家は、晴眼者と同じように活動できるようになることを目標に、触読、視覚認知、歩行、補助具活用等の訓練を実施し、「見えない・見えにくい」ことに基づく種々の困難を克服することを勧めることになる。
- また、自分の力では解決することが出来ない困難に遭遇した場合に手助けを受けやすくするために、障害を開示することの重要性を伝えることになる。
- さらに、専門家は、晴眼者が視覚障害者に対して、優しく接したり、手助けをしてくれるようにするために、なぜ「見えない・見えにくい」状態になるのか、また、「見えない・見えにくい」状態でどんなことに困難を感じるのかを疑似体験等を通して、共感的に理解させるという取り組みをすることになる。

57

## 社会モデルから見た視覚障害（1）

- 社会モデルの観点から視覚障害を理解すると、「社会には、多様な特性の人が存在しており、その中には、点字や拡大文字を使って読み書きをしたり、点字ブロックや音響式信号機等を手がかりに移動するという活動・参加の仕方をする視覚障害のある人もいる」という捉え方になる。
- この考え方に基づくと、視覚障害のある人も本を読んだり、外出したりすることを想定せずに、小さな文字でしか印刷されていない書籍や信号等が見えないと歩くことが危険な道という「社会的障壁」（バリア）を作ってしまったことが障害ということになる。
- また、視覚障害のある人が困難に遭遇する原因は、社会的な問題だと見做され、視覚障害のある人は、なぜ、自分達のことを考えずに社会のシステムが構築されたのかに憤り、専門家等に相談して、困難を解決するための選択肢を探ることになる。

58

## 社会モデルから見た視覚障害（2）

- そして、視覚障害のある人は、専門家等の協力を得て、社会（政府、自治体、事業者等）に対して、日常生活や社会生活の妨げになっている社会的障壁を軽減するための個別の配慮や環境調整・整備を要望することになる。
- また、専門家の協力を得て、より質の高い配慮を選択出来るようにするための環境調整や障害開示の方法を検討することになる。
- さらに、より多くの視覚障害のある人の人権を守るために、障害当事者が中心になって、基礎的環境整備（事前の改善措置）の必要性や社会的障壁を取り除くことが社会の責務であるという考え方を普及・啓発することになる。

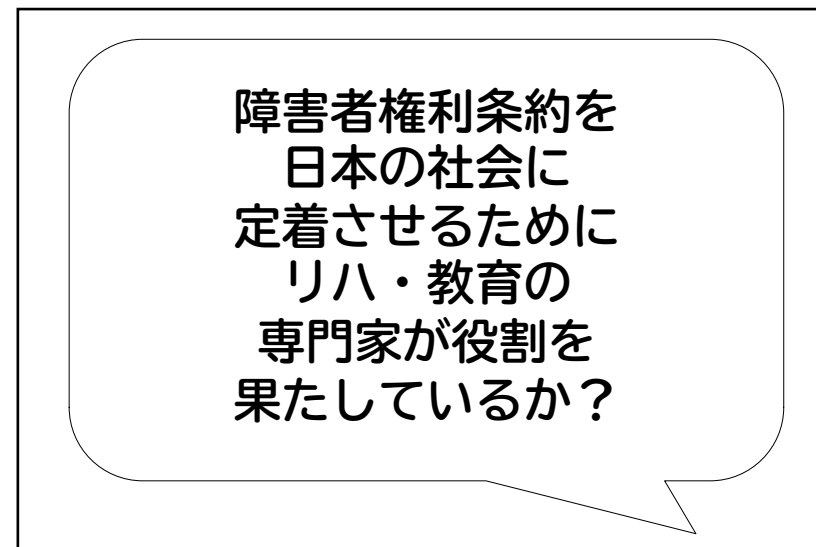
59

リハや教育に  
視覚障害当事者の  
ニーズや意見等を  
どれだけ反映できているか？

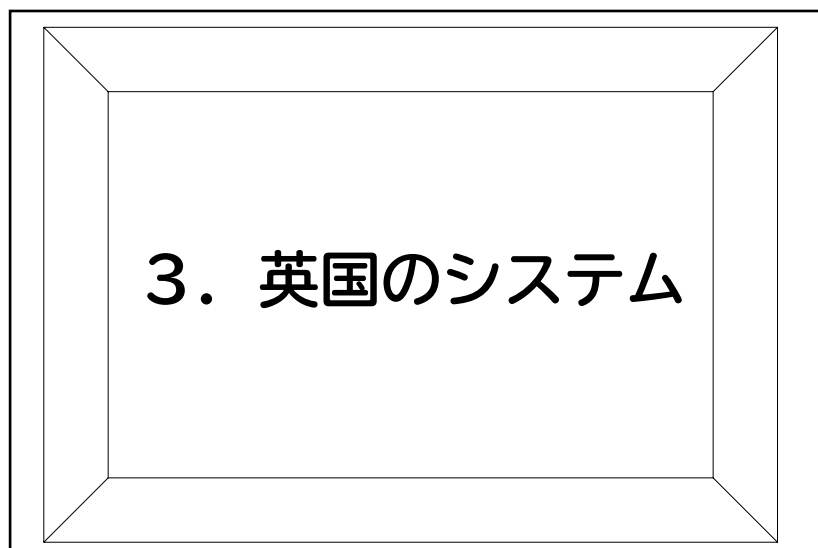
60



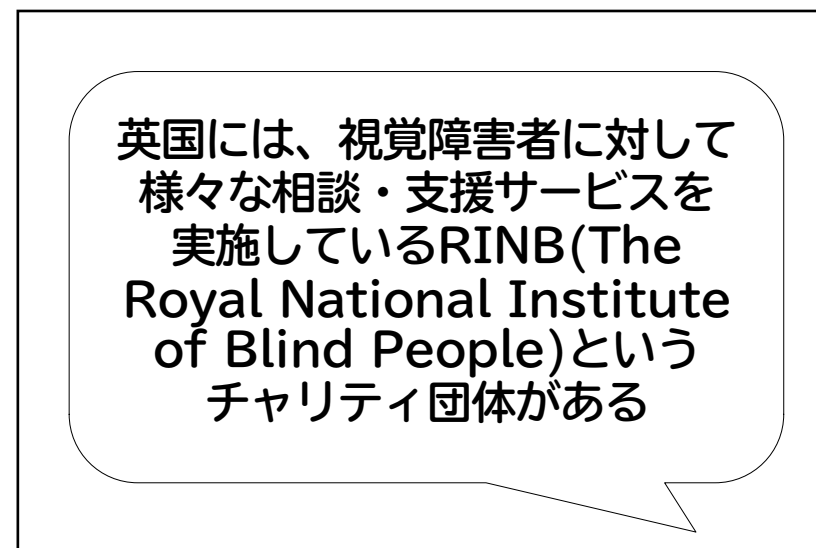
61



62



63



64



## RNIBとは？

- RNIB（英国王立盲人協会）は、英国を代表する視覚障害者のチャリティ団体
- RNIBは、視覚障害のある人達・その家族・ケアラーに実用的なサポートや精神的なサポートを提供している
- RNIBは、視覚障害のある人達の経験に対する認識を高め、すべての人がアクセスしやすい社会を実現するためにキャンペーンを展開している
- RNIBは、視覚障害者にとって障壁のない世界に変えたいと願っている

(Stevie, 2023)

65

英国国内の  
約200万人の  
視覚障害者  
に対して支援を  
実施している

66

## RNIBの本部はロンドン



各地に支部や  
関連施設がある

67

## RNIB本部の最寄り駅はハリー・ポッターで有名なキングスクロス駅



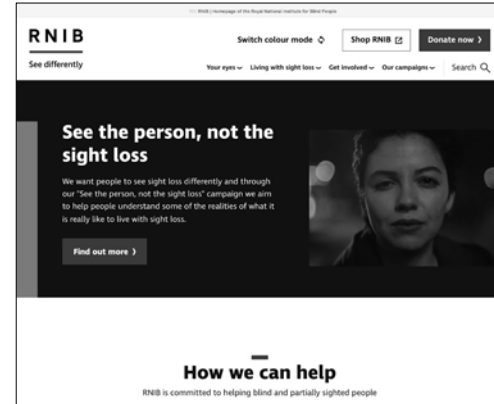
68

## RINB (ロンドン) の外観



69

## RINBのホームページ



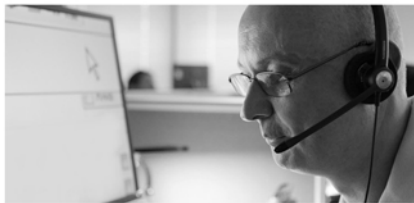
<https://www.rnib.org.uk>

70

## RNIBにおける相談サービス

### RNIB Helpline

If you have a question about living with sight loss, no matter how big or small, we're here to offer support. You can call us on 0303 123 9999 anytime from 8am-8pm on weekdays and 9am-1pm on Saturdays.



A Helpline Adviser wearing a headset in front of computer screen.

Alexaや電話リレーサービスによる相談にも応じている



<https://www.rnib.org.uk/living-with-sight-loss/community-connection-and-wellbeing/rnib-helpline/>

71

## 病院にECLOを配置

### Eye Care Liaison Officers (ECLOs)

Eye Care Liaison Officers (ECLOs also known as Eye Clinic Liaison Officers) have lots of knowledge on eye conditions and on helpful local and national services.

By offering dedicated individual care, ECLOs can talk to you about your worries and give you advice on how to lessen the impact your eye condition may have on your life.

ECLOs act as an important bridge between health and social services and are central to the support and wellbeing of patients in eye clinics. They also help prevent avoidable sight loss, by talking through treatment and helping people to understand their medication if necessary.

RNIB's ECLOs are part of our [Sight Loss Advice Service](#).



<https://www.rnib.org.uk/your-eyes/navigating-sight-loss/eye-care-liaison-officers-eclos/>

72

## ECLOとは？

- Eye Care Liason Officersの略
- 眼科を拠点とし、視覚障害のある人々をサポートする
- 一般的な眼疾患、視覚障害が日常生活にどのような影響を与えるか、どのようなサポートが必要か、眼科以外でどのようなサポートサービスが受けられるか等に精通している
- 医療と社会的ケアの架け橋となり、視覚障害者が必要なサポートを受けられるようにする

(Stevie, 2023)

73

## ECLOが果たす役割

- あらゆる年齢層の視覚障害のある患者・その家族やケアラーにアドバイス、情報、実用的・精神的（エモーショナル）サポートを提供する
- 電話、面談、デジタル・プラットフォームを通じて、患者を中心としたニーズのスクリーニングを行い、視覚障害の影響を受けた人々が、どこでどのようにサポート、アドバイス、指導を受けられるかについて自信を持てるように介入する
- 視覚障害の証明（CVI）と登録の際に、患者と眼科クリニックのスタッフに対する重要な情報と助言を行う
- 眼科クリニックのスタッフ等に、視覚障害や視覚障害者のガイド方法等を理解するための訓練を提供する

(Stevie, 2023)

74

## ECLOの面談スペース



75

ECLOは、病院に配置されていて、  
視覚障害の告知を受けた人と  
その家族等に対して、  
すぐに活用できる支援や  
気持ちに寄り添った支援を行い  
教育・リハの専門家等に  
リンクする役割を果たす人達

76

患者の  
気持ちに寄り添って  
支援すること  
(emotional  
support) を  
とても  
大切にしている！

77

患者の  
気持ちに寄り添って  
支援することを  
重視しているので  
ECLOには  
視覚障害のある人も  
多い

78

患者だけでなく、  
その家族やケアラー  
へのサポートも  
重視している点が  
特徴！

79

ECLOは、大人も子供も  
すべての世代を対象にするが、  
リンク先は  
世代やニーズ等に応じて  
変える

80

ECLOは、患者の気持ちに  
寄り添い、  
日常生活ですぐに役立つ  
様々な工夫を  
アドバイスできる  
リンクワークの専門家！

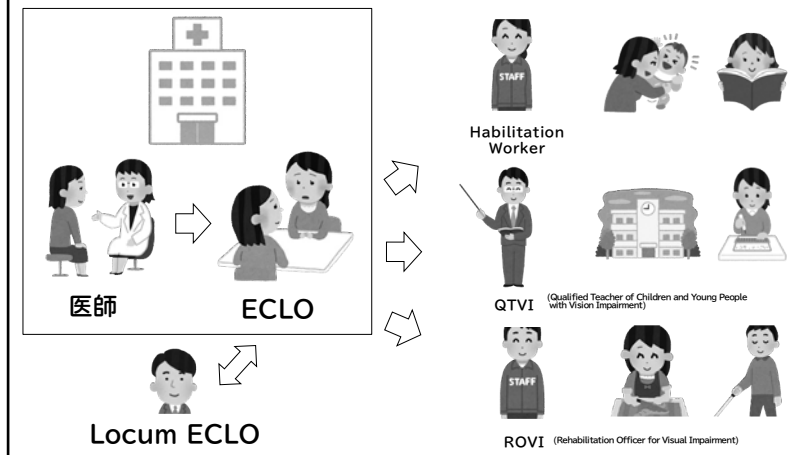
81

## ECLOに求められる能力

- 共感できる
- 思いやりがある
- 時間がある
- 辛抱強い
- 傾聴のスキルを持っている
- 眼科医に対してひるまずに話（交渉）ができる

82

## ECLOの役割のイメージ



83

## ECLOが繋ぐリハ・教育の担い手

- ROVI (Rehabilitation Officer for Visual Impairment)
  - 大人のリハビリテーションを担当する専門職
  - 日本の歩行訓練士に相当する
- Habilitation Worker for children and young people
  - 子供のハビリテーションを担当する専門職
- QTVI (Qualified Teacher of Children and Young People with Vision Impairment)
  - 視覚障害教育専門教員

84

## ROVIが歩行訓練等を担当



85

英国のECLOは  
2023年3月時点で  
115人で、  
半数は視覚障害  
当事者

86

115人のECLOが  
208箇所の病院で  
働いている

87

## 子供病院のECLOの面談スペース



88

## 子供へ関わる際の道具



89

## 廊下の一角に作られた面談スペース



90

2023年8月に  
訪問調査を  
実施した時点での  
ECLO数は132人

91

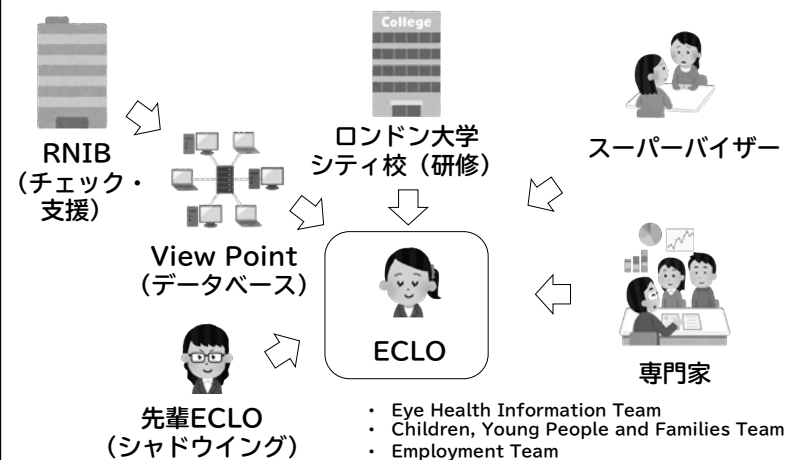
ECLOとして  
活動するためには、  
ロンドン大学で  
実施している4日間  
の研修を受ける  
必要がある

92

4日間の  
研修だけでなく  
ECLOとして  
活動する人を支える  
仕組みがある

93

## RNIBによるECLOの支援体制



94

2023年8月に実施した  
インタビューでは  
すべてのECLOやROVIが  
やり甲斐を感じていると  
回答した！

95

ECLOの詳細に  
ついては  
日本視覚障害者団体  
連合が開催する  
フォーラムも  
ご参照ください

96



## 英国の取り組みから考えるフォーラム

眼科からはじまる社会参加への道しるべ  
英国の取り組みから考えるフォーラム

英国では医療機関を拠点に患者とその家族に対して、医師が直接関わり関与した支援やサポートを提供する「ケア・ナビゲーター」が活躍しています。また、ICLON（イギリスの視覚障害者支援機関）が提供する「ナビゲーター」は、視覚障害者が社会参加するための重要な役割を果たしています。今年8月に開催された「英国の取り組みから考えるフォーラム」では、視覚障害者とその家族が、英国の取り組みを学び、日本での取り組みに活かすための学びの場となりました。

1. 英国の取り組みから考えるフォーラム  
2. ディスカッション  
「英国の取り組みから考えるフォーラム」の模様は、YouTubeで配信されています。

YouTubeでもライブ配信  
<https://youtube.com/live/uaDKxIBCfFs>

日時 2023年12月9日(土) 13時00分～15時30分  
会場 日本視覚障害者センター（東京都港区高輪2-18-2）  
会場定員：40名（要予約、先着順）

【お問い合わせ先】  
日本視覚障害者センター（日本）事務局  
電話：03-3209-0011（受付時間：9時～17時）  
メール：jvc@jvc.or.jp

2023年12月9日(土)  
13時00分～15時30分



<http://nichimou.org/notice/231115-jouhou/>

97

## 4. 英国のシステムから考える 持続可能な 視覚障害リハ・教育

98

日本の視覚障害リハ・教育を  
持続可能にするために  
英国のシステムから  
何を学べば良いか？

99

すべてのサービスを  
障害の社会・人権  
モデルの観点から  
再構築する  
必要がある

25

100

## 英国の例

- RNIBは、視覚障害のある人達の経験に対する認識を高め、すべての人がアクセスしやすい社会を実現するためにキャンペーンを展開している
- RNIBは、視覚障害者にとって障壁のない世界に変えたいと願っている
- ECLOは、理解・啓発を兼ねて、以下のような取り組みを行っている
  - 拠点病院の眼科医や医療従事者に対して、自分の存在や役割をしっかりと伝える
  - かかりつけ医（GP）や地域の眼科クリニック、オプトメトリストにポスターや名刺等を配ってPRする
  - ローカルラジオに出演して、ECLOの存在をPRする
  - 新聞に寄稿して、ECLOの仕事を多くの人に知ってもらう

101

障害を告知された  
段階から  
リハ・教育に繋ぐ  
ECLOのような  
仕組みを構築する  
必要がある

102

## 英国の例

- RNIBは「Patient Talking」という視覚障害のある患者への聞き取り調査を実施した
- その結果、医療や治療への満足度は高かったものの、次の2点では不満足であることが明らかになった
  - 自分たちが話せる相手がない
  - 病院外でどのような支援が受けられるのかわからない
- この調査結果を受けて、英国では、ECLOが誕生した
- ECLOが広がると、提供するサービスに格差が出てきたため、ガイドラインが作成された
- また、当初は、看護師や視能訓練士等がECLOとしても働くようになったが、次第に本業の業務と両立が難しいことが明らかになり、専門化していった

103

当事者に選択される  
訓練・教育を  
提供する必要がある

104

訓練・教育の質を  
担保するために  
国家資格もしくは  
大学と連携して  
認証資格を付与する  
必要がある

105

## 英国の例

- ROVI
  - Birmingham City University
  - 養成期間：2年間
- Habilitation Worker
  - Birmingham City University
  - 養成期間：1～2年間
- QTVI
  - University of Birmingham
  - 養成期間：2～3年



106

視覚障害者に対して  
視覚リハ・教育を  
保障する責任の  
所在を明確にし、  
責任を履行するよう  
働きかけを行う

107

## 英国の例

- 患者が、視覚障害の認証（日本における身体障害者手帳）を受けると、居住している自治体のセンサリーチーム（視覚障害や聴覚障害等の感覚障害を担当するチーム）に情報が届く
- 自治体に所属しているROVIは、5日以内に患者に連絡する
- ROVIは、その後、28日（約4週間）以内に患者の家を訪問し、患者のアセスメントを行い、訓練を実施する
- 自治体に雇われているROVIの数が少ないため、28日以内のホームアセスメントが出来ていない地域もある（その場合には、患者がROVIにつながるまでに行える簡単な支援をECLOが行っている）。

108

政府等への  
働きかけは、  
当事者団体（日本視  
覚障害者団体連合  
等）に主体と  
なっていていただく  
必要がある

109

## 6. おわりに

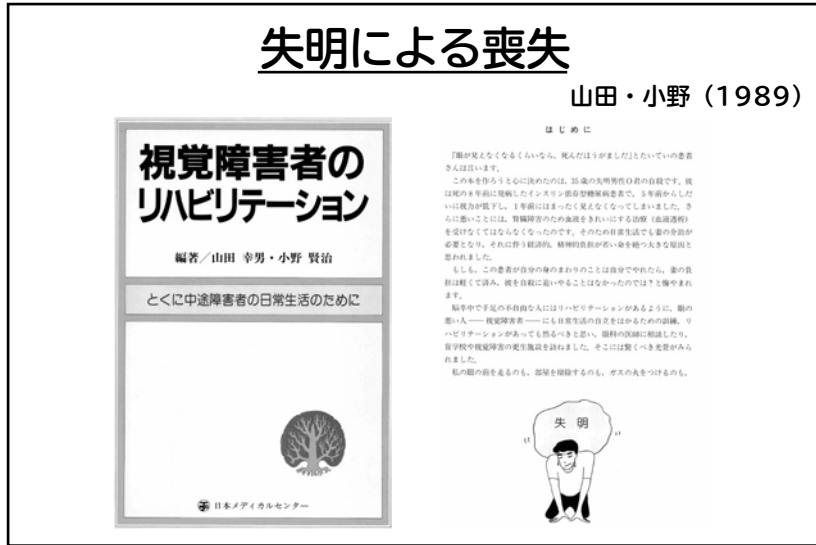
110

様々な社会制度により、  
視覚障害あっても、  
見える人と同じように  
普通に日常生活や社会生活が  
出来るような仕組みが  
構築されつつある

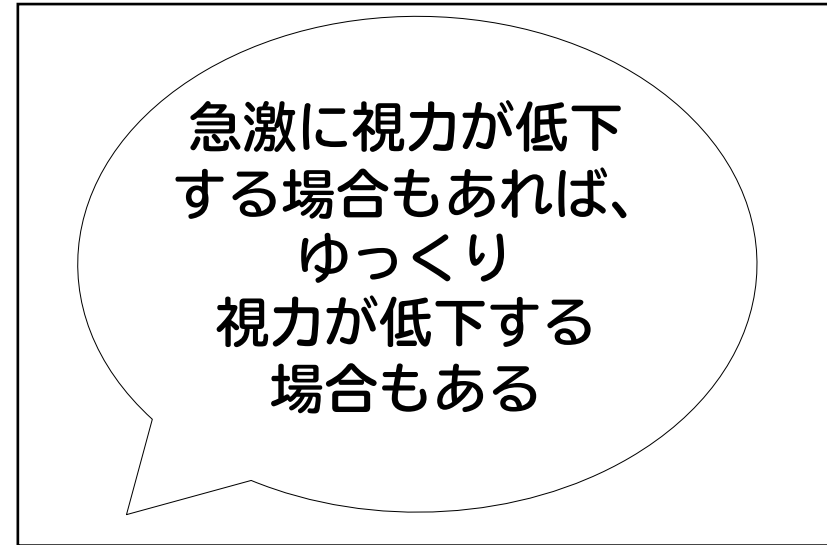
111

しかし、  
視覚障害の告知は  
本人にも、  
その家族にも大きな  
精神的ショックを与える！

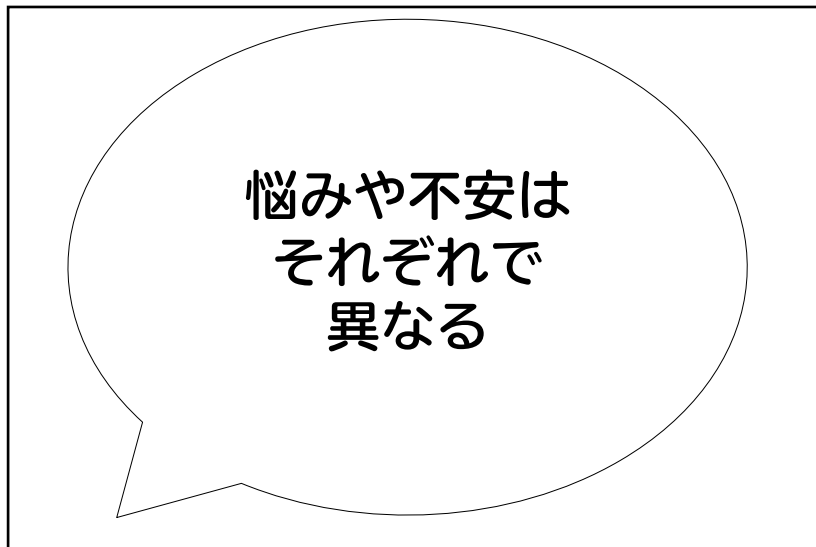
112



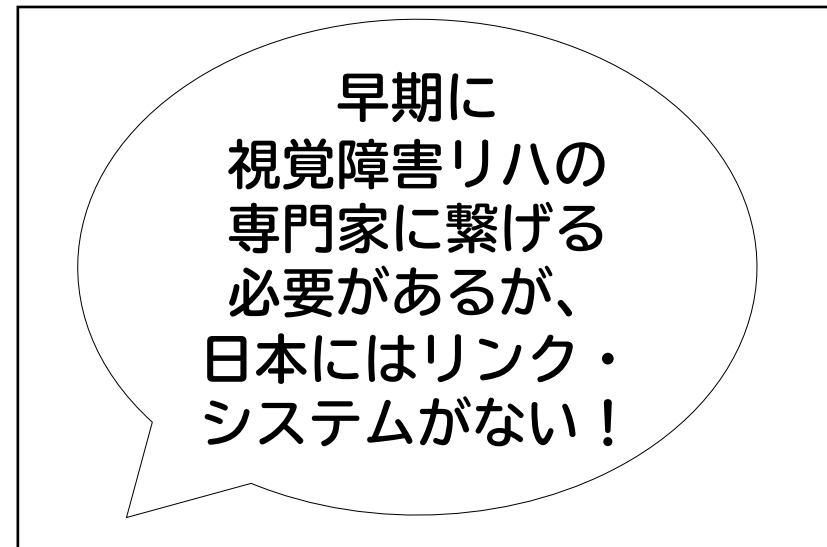
113



114



115



116

家族が崩壊する  
ケースもあるのに  
ファミリー  
サポート体制も  
整備されていない

117

乳幼児に視覚障害が  
あることがわかった場合、  
家族、特に、母親の  
ショックは大きい！

118

病院内で  
医療と教育・リハが  
繋がらないのは、  
眼科の特徴であり、  
日本も英国も同じ！

119

だからこそ、  
眼科に  
リンクワーカーが  
必要なのでは  
ないでしょうか！

120

また、  
患者だけでなく、  
家族やケアラー等の  
サポートも大切！

121

特に、  
乳幼児については  
母親支援が  
必要不可欠！

122

日本視覚障害者  
団体連合の  
日本版ECLO研究は  
今後も継続される  
計画なので、ぜひ、  
ご協力・ご支援を  
お願いします

123

ご清聴  
ありがとう  
ございました！

ご清聴  
ありがとうございました



124